

沖縄防災環境学会講演会in宮古島

古文書・発掘調査が証す 歴史津波の実態とは

1973年頃の砂川元島風景



2013年2月



沖縄県宮古島城辺友利・砂川元島における発掘調査、出土人骨と陶器、津波痕跡

6月22日[土]

開場・受付:13:30

14:00～17:30

聴講無料(定員150名)

【会場】

宮古島市中央公民館
大ホール

【お問い合わせ先】

沖縄防災環境学会事務局
琉球大学工学部2号館403
098-895-8673

Email: enakaza@tec.u-ryukyu.ac.jp

研究発表

山田浩世(日本学術振興会特別研究員PD)
多良間島民と1771年明和津波

山本正昭(沖縄県教育庁文化財課)
八重山の遺跡に見出された津波痕跡

盛本勲(沖縄県教育庁文化財課)
友利元島遺跡に見る明和津波痕跡

久貝弥嗣(宮古島市教育委員会)
2013年度友利元島遺跡発掘調査速報

仲座栄三(琉球大学島嶼防災研究センター)
歴史津波に対する新説

共催 琉球大学島嶼防災研究センター
後援 トヨタ財団研究助成プログラム